

【朝～1時間め】

【2時間め】

友だちはいいもんだ

1/18(水)は深海小との3回目の交流学習を実施しました。今回は朝の登校から下校まで、次年度の1日の流れで実施しました。各学年の通信に詳しく書いてありましたのでご存じかと思えます。朝から、1時間1時間の各学年の交流のようすを記録しようと教室を回りましたが、とてもいいなあという時間が各教

室に流れていました。少しの緊張感と秋めた出会いの喜びをかみしめる表情をととても微笑ましく思いました。子どもたちはあつという間に仲良くなって、昔からの友だちのように牛深東小としての生活をスタートさせるんだらうなあと思っていました。

【4時間め】

【昼休み】

【5時間め】

「♪友だちはいいもんだ。目と目でもの言えるんだ。困ったときは力を貸そう。遠慮はいらない。いつでもどこでも君を見てるよ。愛を心に君と歩こう。みんなはひとりのために ひとりはみんなのために みんなはひとりのために ひとりのために♪」(劇団四季ミュージカル「ユタとふしぎな仲間たち」より)

Bigriver's tweet～校長室より～



5・6年生の教室や廊下には書き初めが飾られています。書かれた文字にどんな思いが込められているのか、立ち止まって名前と文字に見入ってしまいます。

朝早、屋外の草木の葉っぱに水滴が溜まっていることがあります。これを朝露といいます。1月2日の朝、この朝露で墨をすり「字が上手になりますように」と願いながら文字を書いたのが書き初めです。古くから伝わる日本の文化です。昔の人たちは、何回も何回も根気強く手本を見ながら真似をして書くことで、いつの間にか上達するという練習方法を身につけ大事にしました。これは、漢字の練習や計算の練習、部活動にも通じるものがありますね。

さて、2学期から深海小学校との学校統合に向けて、交流学習を行ってきましたが、1月18日が最後の交流学習になりました。第3回目となる今回、深海小学校の子どもたちを乗せたバスは、統合後の牛深東地区スクールバスの運行計画に基づき、始発時刻にあわせて出発しました。午前8時過ぎに牛深東中学校に到着したバスから子どもたちが降りてくる(登校してくる)この風景が、日常の風景になるのも、もうすぐです。子どもたちはそれぞれが児童昇降口に向かい、各学年の靴箱に自分の名前を見つけて靴を入れ、教室へと向かいました。すっかり慣れた行動です。今回の交流でも授業をはじめ、様々な場面ですべての学校として出発する準備ができていて、先生方の温かい心遣いを嬉しく思いました。

4年生は、3時間目が書写の学習で、「新年の一文字」に挑戦しています。自分の今年目標を一文字に込めて筆で練習し、色紙に清書をしました。「友」「仲」「支」…統合後のスタートや高学年になることを意識した文字にも出会うことができました。子どもたちは一生懸命に考えているのですね。

Bigriver's tweet

【3時間め】

【むこんどうじ】

【集団下校】

竹にはフシがある。そのフシがあるからこそ、竹は雪にも負けない。強さを持つのだ。

いい言葉は心にひびく

しっかりした自分のポリシーを持つ、しっかりした自分の決意を持つことは、とても大切なことです。生き方に必要な力があります。宿題は必ずします。みんなに優しくする。無駄なケンカはしない。ありがたいことを言う。あいさつをする。がんばらせますよ。

(答えはこの通信の右下です)